

# 憲法無視の検察介入・不公正な委員会運営を告発



賛成討論に立つ藤野保史議員。奥は森雅子法相=27日、衆院本会議

## 野党が共同提出 法相不信任・予算委員長解任案

衆院

日本共産党と、立憲民主党、国民民主党、社民党などの共同会派は27日、検察官の定年延長問題で強引な法解釈どうその答弁を繰り返す森雅子法相の不信任決議案と、異常な委員会運営を継続している棚橋泰文衆院予算委員長の解任決議案を衆院で共同提出しました。

▼関連②③、藤野・宮本氏の賛成討論●面

### 自公維が否決

森法相の不信任案について、衆院本会議で賛成討論

に立った共産党的藤野保史議員は、黒川弘務東京高検検事長の定年延長のため、「森法相は日本国憲法に由来する検察官の職務の特殊性を無視し、検察庁法の解釈をねじ曲げ、強引な解釈を行った」と批判。森法相の不信任案について、衆院本会議で賛成討論

は、検察人事への介入、従来の法解釈を「口頭決裁」で変更する手法は法の支配で三権分立に反するとして、「憲法違反の疑いがある。本人事にかかる闇議決」ことだ」と強調。新型コロナウイルス対策費が1円も計上されていないことを挙げて、徹底した審議を続けるべきは、眞実が明らかになり、過ちが是正されるまで、徹底した審議を続けるべきだ。

ただ、審議打ち切りなど断じて許されないと力を込めました。共同会派の川内博史議員は、「意味のない質問だ」という安倍首相の暴言を容認した棚橋氏を「一体どちらを向いているのか。立法府の矜持をもって即座に厳重注意すべきだった」と批判。野党の意向を無視して政府に都合の良い参考人だけを招致し、職権による委員会の強行開催を重ねたことも告発し、「公平さのかけらもない運営だ」と強く指摘しました。

「とも述べました。

さらに、定年延長は、安倍晋三首相が「桜を見る会」疑惑で刑事告訴の中で行われたと指摘。安政権に近い人物が検事総長になる道を開くための異常な解釈だ。検察への政治介入のお先棒を握ることなど許されず、法相として全く不適格だと強調しまし

た。

「国会が行政監視機能を果たすことが強く求められる中で行われたと指摘。安政権に近い人物が検事総長になる道を開くための異常な解釈だ。検察への政治介入のお先棒を握ることなど許されず、法相として全く不適格だと強調しました。

棚橋予算委員長の解任案は、「意味のない質問だ」という安倍首相の暴言を容認した棚橋氏を「一体どちらを向いているのか。立法府の矜持をもって即座に厳重注意すべきだった」と批判。野党の意向を無視して政府に都合の良い参考人だけを招致し、職権による委員会の強行開催を重ねたことも告発し、「公平さのかけらもない運営だ」と強く指摘しました。

西案は、自民党、公明党、日本維新の会などの反対多数で否決されました。